

平成 25 年度活動報告及び収支決算報告について

I 平成 25 年度活動報告

1 機関誌の発行

機関誌「子ども樹木博士ニュース」を平成 25 年 6 月 1 日 (No. 51)、9 月 1 日 (No. 52)、12 月 1 日 (No. 53) 及び平成 26 年 3 月 1 日 (No. 54) の 4 回発行し、会員や実施団体をはじめ、林野庁、森林管理局・署等、都道府県等に配布した。

(参考)「子ども樹木博士ニュース」(No. 51～54) の掲載概要

No. 51

- 巻頭言：福島森（山）へお越してください
- 特集Ⅰ：会えてうれしい、季節限定で観られる動植物
- 特集Ⅱ：季を見て森を見る（四季折々の森から）—その① 初夏の森
- 事例報告Ⅰ：樹木の魅力を伝える「子ども樹木博士」を目指して
- 事例報告Ⅱ：真庭の子ども樹木博士実施状況
- シリーズ：東南アジアの木々たち(20)—不思議な盆栽（ベトナム）—
- 子ども樹木博士質問コーナー
- ア・ラ・カルト：花や葉の特徴を知る、事務局だより

No. 52

- 巻頭言：より身近な子ども樹木博士を目指して
- 特集Ⅰ：涼しい森の中で、小さなコケの森を観察
- 特集Ⅱ：季を見て森を見る楽しみ（四季折々の森から）—その②秋の森
- 事例報告Ⅰ：「子ども樹木博士」認定事業
- 事例報告Ⅱ：札幌市・藻岩山での子ども樹木博士活動
- シリーズ：東南アジアの木々たち(21)—真っ黒い石のような木—
- 子ども樹木博士質問コーナー
- 事務局だより：第 13 回通常総会の開催について（報告）

No. 53

- 巻頭言：はじめの一步
- 特集Ⅰ：「フロラ調査」をやってみました

- 特集Ⅱ：季を見て森を見る楽しみ（四季折々の森から）
—その③ 初冬の森
- 事例報告Ⅰ：屋内イベントで子ども樹木博士認定活動
- 事例報告Ⅱ：関さんの森で子ども樹木博士認定事業
- シリーズ：東南アジアの木々たち（22）—乳液の出る端整な木—
- 子ども樹木博士質問コーナー
- 事務局だより：平成25年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況等・

No. 54

- 巻頭言：みちくさ四国遍路
- 特集：季を見て森を見る楽しみ（四季折々の森から）—その④春の森
- 事例報告Ⅰ：西新宿で自然さがし
- 事例報告Ⅱ：里山とふれあい、里山を育てる
- シリーズ：東南アジアの木々たち（23）—猿が滑らないサルスベリ—
- 子ども樹木博士質問コーナー
- ア・ラ・カルト：草木の名前を覚えよう—樹木のメバエ
- 事務局だより：平成25年度の子ども樹木博士の実施報告によせてなど

2 認定活動等の実施状況

(1) 認定活動の推進

平成25年度の認定活動について、実施団体から事務局に報告等されたものは、実施回数で延べ72回、参加人数で延べ約20百人（前年度は69回、約22百人）となっている。

また、地域ごとには、25都道府県で、63団体による実施（前年度は25都道府県、60団体による実施）となっている。

(2) 認定証の配布等

要望を受けて、「認定証」、認定活動の「進め方」、その他の資料等を配布した。このうち、認定証の配布数は、1,794セット・2,194枚（前年度2,309セット・3,063枚）となっている。

（注）認定証にはA5サイズと名刺サイズの2種類のものがあり、これらを併せてセットで要望されるケースもある。

(3) 新しい「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及

一昨年に新しく作成した「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及に努めた。配布数は 500 冊（前年度 473 冊）で、このうち有償によるものは 500 冊（前年度 447 冊）となっている。

(4) インストラクターの紹介等

実施団体からの要請に応じ、森林インストラクター等を紹介した。

また、平成 25 年度の認定活動の実施について報告等のあった実施団体を含め、実施団体の一覧表を整理した。

その結果として、平成 12～25 年度に認定活動を実施したことのある団体は 44 都道府県で 291 団体（前年度は 44 都道府県で 272 団体）となっている。

(5) その他の活動等

平成 25 年 12 月 13～15 日(木～土)に東京ビッグサイトで開催された「森林からはじまるエコライフ展 2013」において、パンフレットの配布等を行った。

また、協議会等のホームページの更新等を逐次行った。

【当協議会の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kyokai/kodomokyou.html>】

【子ども樹木博士の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>】

3 会員の状況

(1) 入会 個人会員 3 人

(2) 退会

退会の申出 団体会員 1 団体 個人会員 2 人

退会の処理 個人会員 1 人

(注) 退会の処理：原則として 3 年間会費が未納の会員

(3) 平成 26 年 3 月末

団体会員 24 団体（前年度：25 団体）

個人会員 65 人（前年度：65 人）

Ⅱ 平成 25 年度収支決算報告

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 引
(収入の部)			
1 会費収入	396,000	340,000	-56,000
2 助成金収入	1,100,000	1,100,000	0
3 雑収入	131,000	299,256	168,256
4 欠損金	0	-133,819	-133,819
当期収入合計 (A)	1,627,000	1,605,437	-21,563
前期繰越収支差額	2,644,537	2,644,537	0
収入合計 (B)	4,271,537	4,249,974	-21,563
(支出の部)			
1 会議費	90,000	63,100	-26,900
2 事業費	1,500,000	347,668	-1,152,332
3 事務費	1,140,000	1,009,598	-130,402
4 予備費	300,708	0	-300,708
当期支出合計 (C)	3,030,708	1,420,366	-1,610,342
当期収支差額 (A-C)	-1,403,708	185,071	1,588,779
次期繰越収支差額 (B-C)	1,240,829	2,829,608	1,588,779